

和歌山県立南紀はまゆう支援学校 学校運営協議会

令和6年度 第2回 【12月2日(月)】 10:00～12:00

出席者：委員5名 傍聴者 5名

会議の流れ

- ① 学校長あいさつ
- ② 第2回 学校運営協議会分科会の報告
- ③ 作業学習(高等部)の取組発表
- ④ 意見交換
- ⑤ 授業参観(高等部作業班)
- ⑥ その他
- ⑦ 各分科会

概要

【議論した主な内容】

② 第1回学校運営協議会各分科会について情報共有

○キャリア教育支援 ○地域連携

- ・児童生徒たちのキャリアの保障と指導支援について
- ・社会参加、社会自立に向けての小学部段階からの教育課程の系統性について
- ・生活習慣、自己表現、自己理解、就職・進路等の理解、啓発的経験、職業観の育成、進路設計、進路先への適応等の本校独自のシート作成について
- ・離職を未然に防止するために就職先への引継ぎ資料とする「自分トリセツ」の作成について
- ・マナー、金銭管理、社会保険、年金等について

○学校安全

- ・大雨警報等が途中で発令された場合の対応について
- ・ファーストミッションボックスの中身や効率的な活用方法について
- ・避難訓練(火災・地震)について

③ 作業学習(高等部)の取組発表

- ・各作業班の製品、開発の紹介
- ・今後の取組に向けての課題等について

<各委員より>

- ・田辺市庁舎で、先月南紀はまゆうの展示をしていたが、目につく場所にあれば欲しいという方がいらっしゃる事が分かったので、食品加工試作品の販売場所として使ってもらっていいし、新商品等、期間限定で、また商品化ができれば販売にも協力させていただきます。
- ・子ども食堂をしていることもあり、みかんジャムを購入したい。アンケートもとれます。
- ・自分だけのものを自分で作るという視点で、途中からつくり、最後の仕上げを個々で仕上げるという体験教室のようにし、生徒が先生になり自分だけの一つのものを作る、バッグにマジックで好きな絵を描く等、体験教室的にされるのもいいのではない

でしょうか。ドライフルーツは、保存食、非常食でいいなと感じます。どこかに持っていくときに上富田で作ったものと言えるような、クッキー、ケーキの方が個人的には買いやすいです。また、ジャムを使ったお菓子パンの販売といった視点もいいのではないのでしょうか。この商品なら、南紀はまゆうが一番という商品があればいいと感じます。食品衛生責任者に進みたい生徒がいれば、資格を取れる支援も行っていいのではないでしょうか。

④ 授業参観（高等部：作業班）

＜各委員からの感想＞

- ・コップが軽いことに驚きました。鮮やかな青色が目にとびこんできました。
- ・文化祭での販売活動を行った後であったため売れ行きがよく、在庫がないと感じました。先生方の苦勞が伝わってきました。
- ・長めにかけてられるカバンと小さいトートバッグ用のカバンの両方があればいいと思います。エコバックス的な要素、かごにかけてられるようなもの、普段のバッグと袋が欲しいときに出せて、なるべく小さくなるような生地のエコバッグがあればいいのではないのでしょうか。木工では、火おし道具は市販のものは火をおしにくいので困っています。木の素材で組み合わせのいいものがあり、火がおしやすくなるものを開発していただければありがたいです。

⑤ 分科会

＜キャリア教育支援＞＜地域連携＞

- ・ICTでの障害者雇用について
- ・地域の学校との交流について
- ・就職先に自分を説明できる、発信できるシート作成について

＜学校安全＞

- ・本校の災害対策における各種マニュアルについて
- ・避難訓練（火災・地震）について
- ・災害時伝言ダイヤルの有効な使用のあり方について

